

令和 3 年 度

財政援助団体等に対する監査結果報告書

高 砂 市 監 査 委 員

第1 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定に基づく財政援助団体等に対する監査

第2 監査の実施期日及び監査の対象

監査実施日 令和4年11月28日

監査の対象 国際ライフパートナー株式会社
(高砂市ユーアイ福祉交流センター指定管理者)

第3 監査の範囲

令和3年度における出納その他の事務の執行について監査を実施した。

第4 監査の方法

今回の監査は、主に、予算の執行、収入、支出、契約等の事務の執行が、適正かつ効率的に行われているか、また所管の事務の執行が合理的かつ効率的に行われているか、法令等の定めるところに従って適正に行われているかなどを主眼とし、次のとおり実施した。

対象団体の経営状況に関する資料（事業報告書、施設利用状況、収支決算報告書等）について、関係職員から説明を聴取し、質疑を行い、財務関係資料、関係帳簿及び証拠書類等の関係書類の検査を行い、施設の現場確認を行った。

第5 監査の結果

監査の結果、一部において検討すべき事項が見受けられたが、予算の執行、収入、支出等についてはおおむね良好に処理がされていると認められた。監査時に気づいた事項についてはその都度口頭で指示したところである。

国際ライフパートナー株式会社は、指定管理者として平成31年4月1日から令和6年3月31日までの5年間の基本協定による協定期間として、高砂市ユーアイ福祉交流センターの管理及び運営を行っている（第1期として平成27年1月30日から平成31年3月31日まで指定管理業務を実施）。また、共同事業体として高砂市向島公園及び高砂市向島多目的球場を令和4年度から10年間、同じく共同事業体として高砂市文化会館及び高砂市文化保健センターを平成31年度から5年間の契約期間で指定管理業務を行うこととしている。

令和3年度の年度協定書による高砂市ユーアイ福祉交流センター指定管理料は25,800,000円である。施設の維持修繕については、1件当たりの金額が50万円未満は、指定管理料の範囲内で行うこととし、1件50万円以上のものについては高砂市と協議のうえ実施することとしている。

令和3年度の利用状況については、緊急事態宣言により条件付きの貸館となっているが、利用人数は19,634人で前年度に比べ2,433人(14.1%)増加している。また、交流スペース利用率は27%であり、前年度(24%)に比べ3ポイント増加している。利用料

金収入は交流スペースと駐車料を合わせて2,808,200円であり、前年度(2,576,950円)に比べ9.0%増加している。次年度以降についても、ホームページ等において利用促進のPRを積極的に実施し、利用率の向上に努められたい。

休館日は年末年始の6日間とセンターの保守に要した日を除き、連続して開館している。また、利用時間についても午前9時から夜間の22時まで行っており、今後も引き続き利用需要に応じた運営を実施されたい。

利用許可申請書、減免申請書、利用料金の収入状況についてはおおむね適正に処理されていた。また、暴力団排除に関する取組等の運営業務については的確に処理されていた。

利用者満足度調査については、交流スペース利用団体(者)に対して紙面アンケートを行っている。調査結果を参考に今後も利用者の要望・意見等についての的確に対応されたい。

維持管理業務として法定点検を含む委託業務については、おおむね適正に処理されていた。光熱水費(電気代、ガス代、水道代)は、2,855,735円であり前年度(2,656,688円)に比べて、7.5%増加している。今後も引き続き経費の縮減に努められたい。

修繕費は、1,540,205円であり、50万円超過修繕はなかった。腰掛便器洗浄便座修繕、パソコン入替え(2台)、プロジェクター修理、誘導灯補修等の修繕を行っているが、修繕実施計画書は作成していないとのことである。今後の施設・設備の老朽化に伴う修繕が多く発生すると思われることから、高砂市担当部との調整会議等で十分協議されたい。

人件費14,525,241円、消耗品費489,229円及び委託料8,332,865円について確認を行ったところ、各月ごとの支出状況や支払い内容については、基本的には本社で一括して支出事務を行っているとのことであった。当日及び事後にて明細書の提出を受け確認を行ったところであるが、業務報告書や請求書等については本社のみ原簿の保管のみならず、控えとして高砂市ユーアイ福祉交流センターで保管されたい。

自主事業についてはオンラインミーティング講座、グラスサンドフラワー講座、シニア世代向けやさしい「LINE」教室及びTシャツコンテスト等開催している。講座事業も含め新たなイベント等も積極的に実施され多くの市民が来館されるよう鋭意工夫されたい。

今後も、市民の福祉の増進を図るため、その交流の拠点として設置されたこのユーアイ福祉交流センターについて、施設改修も含め利用者が過ごしやすい環境を整備され、本事業をさらに発展存続されるよう要望する。